

マンガ日本ロータリークラブの父

よね やま うめ きち

米山梅吉

Umekichi Yoneyama Story

ものがたり

生涯を奉仕に捧げた偉人

企画 国際ロータリー第2700地区青少年奉仕委員会

マンガ 宮下二三



日本ロータリークラブの父 米山梅吉が
社会に向けて行つた「奉仕」は数えきれない

地域活性化

福祉

教育

経済

医療

自身の学びと努力を
社会へ還元し続けた米山梅吉

しかしその功績の大きさに比べて
その名が十分に知られているとは言えない

それは彼の人柄が極めて謙虚なことに加え
その行動が無私の理念に基づいた
ものだったので

米山梅吉本人が自分自身について
語ることが少なかったためかも
しれない

そんな米山梅吉という偉人の片鱗を紹介したい

一八六八（慶応四）年
二月四日

武士の時代は
終わりが



この子の名前も町人らしく
「梅吉」がいい



米山梅吉は一八六八年に
元武士・和田竹造の三男として
東京芝田村町に生まれた

しかし 梅吉四歳のときに父竹造が急逝



一家は母うたの里である三島に移る



もうすぐだよ
頑張って歩いて

ここでは兄の栄次郎が
教鞭をとっていた

また満点だ

梅吉は偉いな!

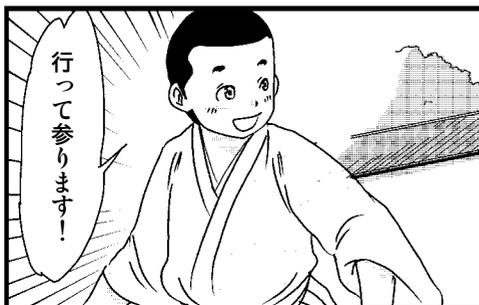
素直な性格で
成績も飛びぬけていたという

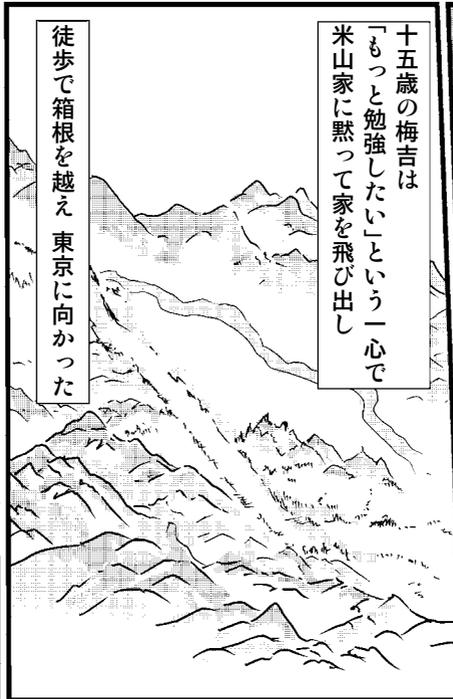
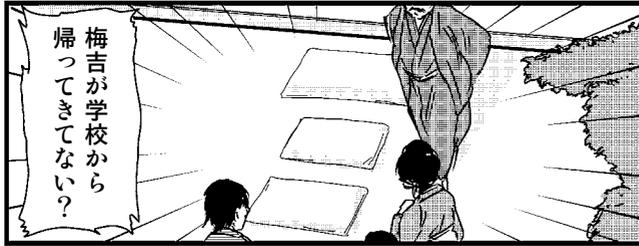
やがて梅吉は
映雪舎(小学校)に入学





地元の名士・米山藤三郎である





東京に着いた梅吉は
兄・栄次郎の嫁の兄である
望月功氏の元を訪ねた

梅吉君？

望月氏は栄次郎を諫めたが
入学の保証人にな
ってくれた

勉強がしたくて一人で
ここまで来たんだ

ただ逃げてきた
わけではないのだから…

やがて銀座の江南学校に入学
さらに漢学者 土居光華の
書生となる

友人・藤田四郎との出会いも
後の梅吉の人生に大きな影響を与える

猛勉強の後 東京府吏員採用試験に
合格した梅吉は居を構え
母を招いた

明治十九年 梅吉は
東京英和学校(現・青山学院)に入学
本多庸一に師事する



明治二十年
東京銀座福音会英語学校に入学



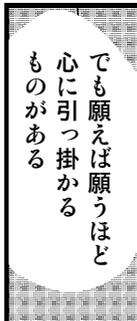
ひたむきに学びの道を邁進する中



もつと…
もつと学びたい…



でも願えば願うほど
心に引っ掛かる
ものがある

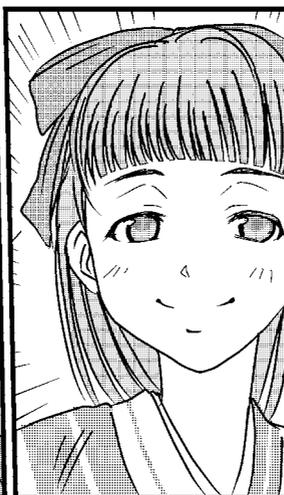
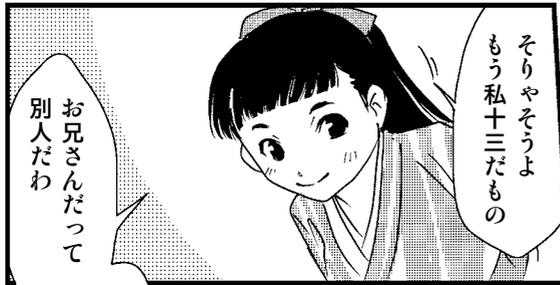


米山のお義父さん
ごめんなさい…



はるちゃん！
はるちゃんだろ？







申し訳
ございません!



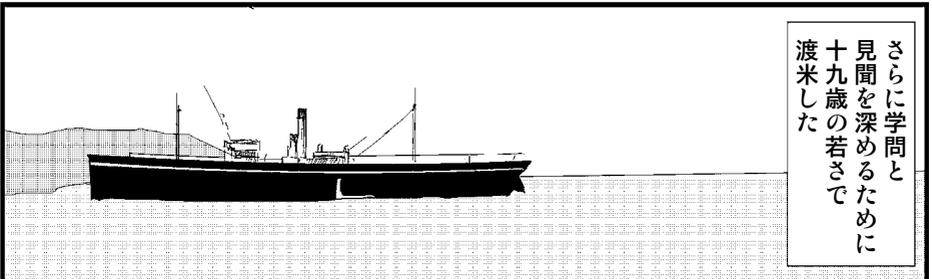
こうして訪ねて
来てくれて
私は嬉しいんだよ...



元より私が君を見込んで
来てもらったんだ
君が学びたいと言うのを
止められるはずもない...



梅吉は正式に
米山家に入籍



さらに学問と
見聞を深めるために
十九歳の若さで
渡米した

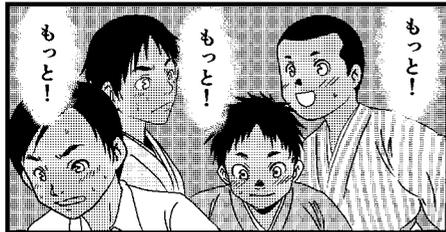


アメリカでは
八年間猛勉強に
明け暮れた

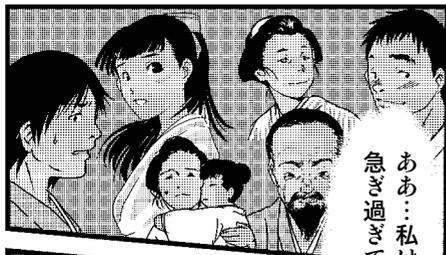
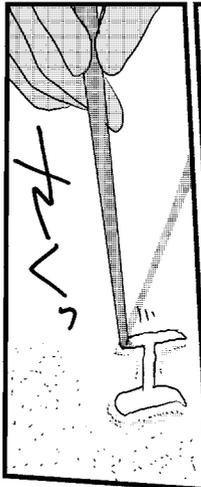
勉強の合間には
仕事をして学費を
稼ぐ日々

正直生活は苦しいが
学べることが多すぎて
歩みを止められない!

折しもかつて教えを受けた
東京英和学校の師・本多庸一も
アメリカ滞在中だったため
梅吉は毎晩のように教えを請うた



もっと!
もっと!
もっと!



ああ…私は…
急ぎ過ぎていたのですね…



「巧遅拙速」…
私に対して…?

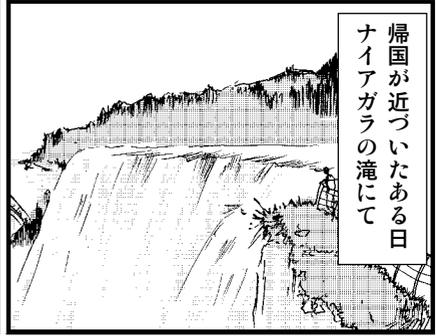


この言葉は梅吉の座右の銘となった



これからは
学んだことを返して
いかねばならん！

日本のみんなに…

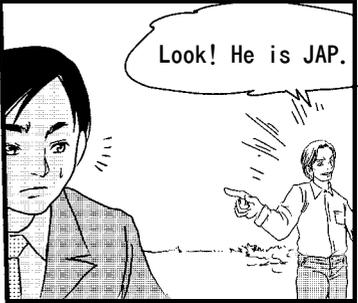


帰国が近づいたある日
ナイアガラの滝にて

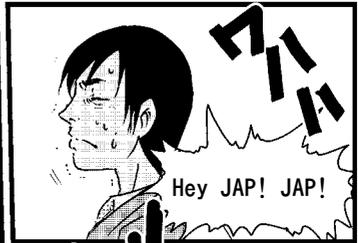


日本を馬鹿にするな！

梅吉が暴力をふるったのは
後にも先にもこの時だけであつた



Look! He is JAP.



Hey JAP! JAP!



渡米中に米山梅吉は
ひとつの作品を
作っていた

「提督彼理」である

アメリカでペリーの伝記を読み
生誕の地を訪ねペリーの人格に
心を打たれた梅吉は

その人物像を正しく日本に
伝えたいと思ったのである



開國 提督彼理全
先登
東京 博文館 藏版

從一室伯得 安邦君頭許
米國、ペリーの大提督
島崎長藤田 西園若序文 米山梅吉著

出版時 題字を揮毫したのは
維新の立役者のひとり
勝海舟である



勝の人柄を敬愛した
梅吉は何度も
足を運び



福沢諭吉や
榎本武揚らとも
親交を結んだ



明治二十九年
米山家の娘・はると結婚



英語の才能を活かして
「日本鉄道会社」に入社
めでたく長女も誕生

しかし生活は困窮した



藤田君 僕に本当に
合った仕事は
ないものかな…？



藤田の義父・井上馨の推薦を
もらい梅吉は三井銀行へ入社

藤田の義父(妻の父)は幕末の
志士・井上馨(井上聞多)で
維新後の日本財界の重鎮だった

入社したはいいが
金融については
まったくの素人だ

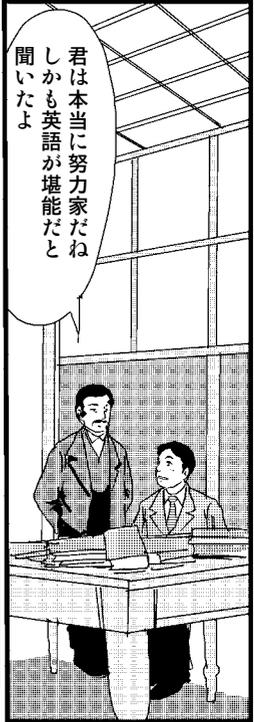
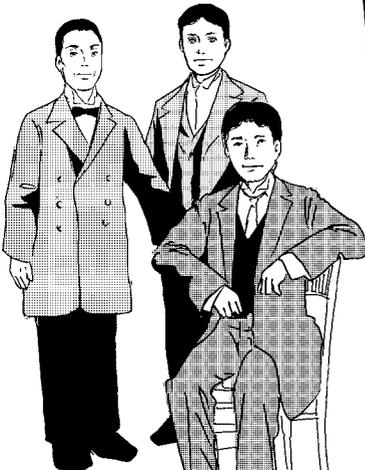
とにかく勉強!
勉強あるのみだ!

君は本当に努力家だね
しかも英語が堪能だと
聞いたよ

欧米の銀行視察団を
組むのだが米山君
行ってくれないか?

はい!

米山は他二名の同行者と共に
二年間の欧米視察に出た



日本の銀行は
まだまだ遅れているな…



帰国後 彼らがまとめたレポートは
日本の金融を大きく変えるような内容で
その後の日本銀行界の礎となった

梅吉は三井銀行からの
厚い信頼を受け
大阪 大津 深川 横浜と支店を
転々とし横浜支店長に就任

さらに三井銀行の要職を
歴任し見識の深さと先見性
から日本経済界の顔と
なっていく



大正七年

視察のため
何度も諸外国へ足を
運ぶ中で福島喜三次
と出会う



私はダラスロータリークラブの
会員なんですが一度参加して
みてはいかがですか？

ほう？
ロータリー
クラブ？



Service not self
「利己のない奉仕」を標語に
シカゴの弁護士ポール・ハリス氏
が発足した会なんです

最初は有志の屋敷会という形で
会員の店や事務所を順回り
(in rotation) したことから
ロータリークラブと名づけました





会員は異なった
商売・職業から一人ずつ
選ばれて

政治や宗教を除いた
実業やその他の問題の
意見交換をします

なるほど
選ばれた者はその分野の
代表者なのだから名誉にも
思うのだね

一九〇五年の発足から数年のうちに
アメリカのあちこちに
一九一一年にはイギリスにも
支部ができたのです

ふむ…
日本にもいつか…



深く感銘を受けた梅吉は
帰国してからその研究に
つとめた

国や職業を超えた
「奉仕の精神」
これがこれからの日本に
なによりも重要である！

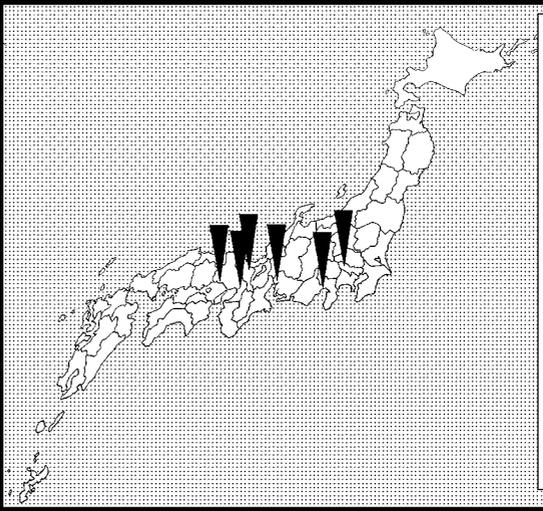
ROTARY CLUB
ROTARY INTERNATIONAL
TOKYO JAPAN

「ロータリークラブ」
日本に創設

そして二年後の大正九年

ようやく
この日が着た…

賛同者は次々に集まり
「東京ロータリークラブ」創設を皮切りに
全国に続々とロータリークラブが誕生していく



しかしこの時期の梅吉の
人生には悲しい出来事も
多かった



大正十年
長男の東一郎が二十歳で逝去



翌大正十一年
義父の米山藤三郎



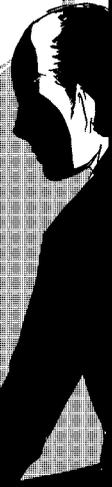
大正十一年
兄の菊松



大正十三年
同じく兄の栄次郎が逝去



家族を何よりも大切にしている梅吉に
とっては耐え難いほどに辛い出来事だった



その二年後には次男の駿二が逝去した

駿二よ……
まさかお前まで……

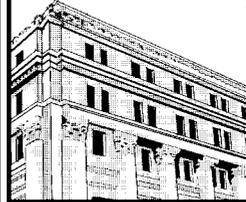


駿二が亡くなった際には
立教大学に心理学実験室を寄付した
彼が生きていた証を
残しておきたかったのであろう



大切な人を相次いで失った梅吉は
その心の穴を埋めるように黙々と
社会への貢献 奉仕の活動を進めていく

大正十三年「三井信託株式会社」を
創立 取締役社長に就任する



昭和三年には紺綬褒章も
受章した梅吉だが 彼は
次のことを考え始めていた

これからの日本を
変えていくには
子どもたちの教育から
変えていく必要がある



はる お前にも
力を貸してほしい

私に
できることでしたら
何でも



他にも梅吉の携わった社会奉仕
社会事業は枚挙にいとまがない

がん治療研究への援助や
結核療養所の設立



各地への病院の増設
国民健康保険制度実施への協力



地方の農村への援助
母子施設や老人・障害者施設の増設



昭和十五年から三年にわたり
全国のらい病施設を訪問

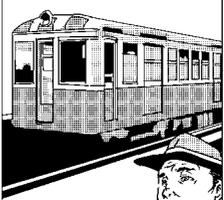
当時らい病は伝染病と
考えられていて国の視察官でさえも
施設には近寄らなかつたが
梅吉は患者の一人ひとりにお土産を
用意し触れあいながら慰問を続けた

昭和十二年 梅吉は
私財をなげうって
財団法人緑岡小学校
(現・青山学院初等部)を
創立し校長に就任

さらに緑岡幼稚園も創立し
米山はるが園長として就任する



さらに昭和十三年には
貴族院議員に勅選
国民に広く奉仕する場を得た



困っている人や
助けを求めている人がいれば
どこへでも出向き



とにかく一人でも多くの人を
笑顔にしたい
そんな無私の活動が続いていた

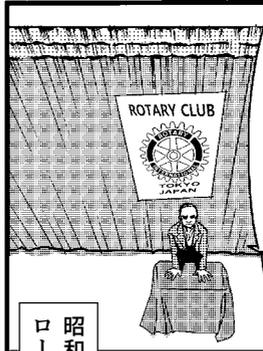


しかし
そんな梅吉の理想とは裏腹に
日本は戦争に向かっていった

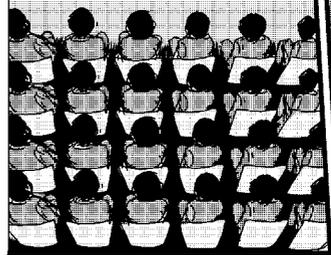


今日は諸君に
伝えなくてはならない
ことがある

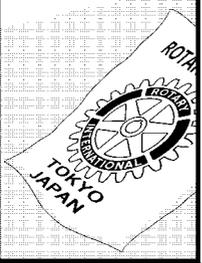
こんなに辛い気持ちで
語らなければならぬのは
ロータリークラブが日本にできて
二十年経つが初めてである



昭和十五年
ロータリークラブは解散を命じられる



ロータリーの思想の一つである
「他国との交流を深める」というものは
軍部にとって都合の悪い内容であった



ロータリークラブは
「水曜クラブ」と名を変えて
活動を続け

戦後の昭和二十四年に
再び「ロータリークラブ」と
元の名で復活を遂げる





昭和二十年
ようやく戦争が終わり 戦後初の
国会が召集されることとなった



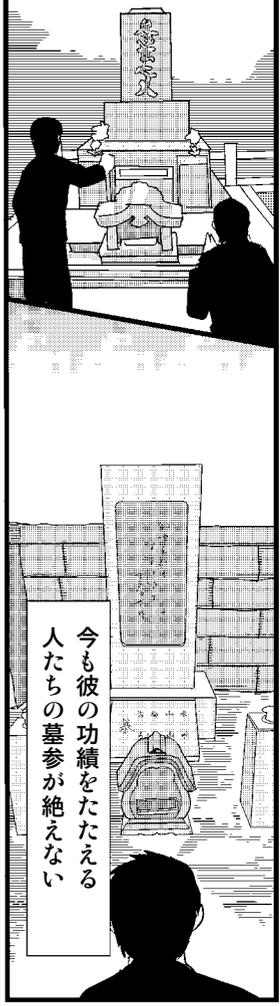
一九四六年四月二十八日に逝去
享年七十八であった



梅吉は無理を押しして国会に
出席したが、これにより病状が悪化
入院を余儀なくされ闘病を続けるが…



梅吉の遺骨は分骨され
横浜・鶴見の総持寺と
故郷の長泉村に
墓が作られた



今彼の功績をたたえる
人たちの墓参が絶えない

米山梅吉が生前
何度も繰り返して口にしていた言葉がある

「何事も人々からしてほしいと望むことは
人々にもそのとおりにせよ」

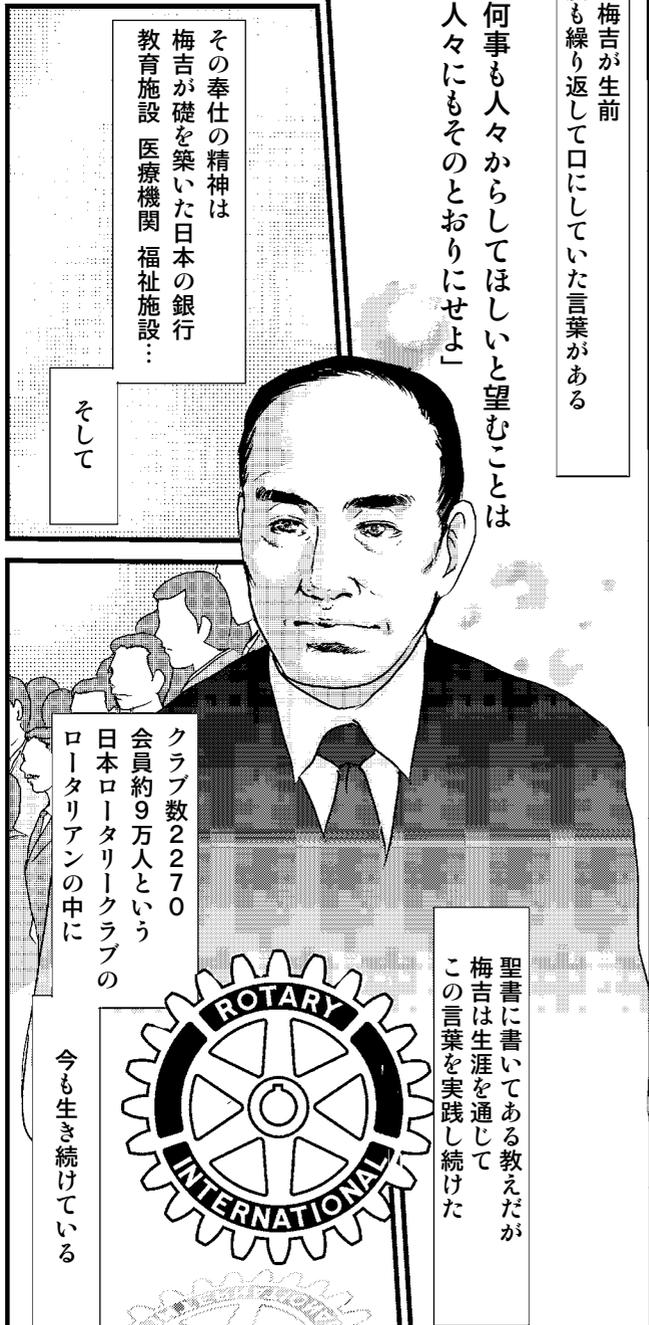
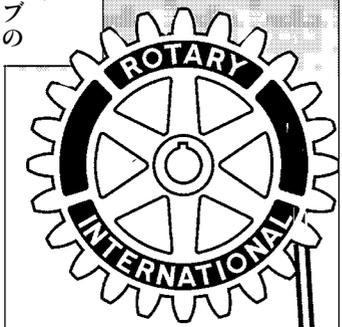
その奉仕の精神は
梅吉が礎を築いた日本の銀行
教育施設 医療機関 福祉施設…

そして

クラブ数2270
会員約9万人という
日本ロータリークラブの
ロータリアンの中に

今も生き続けている

聖書に書いてある教えだが
梅吉は生涯を通じて
この言葉を実践し続けた



発刊によせて —制作の経緯について—

国際ロータリー第2700地区 地区青少年奉仕委員長

(福岡東RC)
田村志朗

インターアクトとの出会い

2010年1月、お世話になった方からのご紹介で福岡東ロータリークラブへ入会いたしました。当時、年齢が比較的若いということもあったのでしようか、当クラブが提唱している中村学園女子高等学校インターアクトクラブの担当委員会へ配属されました。はじめて彼女たちの活動を目にしたとき、大きな感動を覚えたのを今でも思い出します。

その翌年には地区インターアクト委員会への出向依頼があり、入会以来8年、インターアクトをはじめとする青少年奉仕部門へずっと携わって参りました。

これまで青少年奉仕活動を支援してきて分かったことは、彼・彼女らは日々の奉仕活動については大変熱心なのですが、ロータリーの歴史であったり、その精神についてをほとんど知らずして活動を行っているということです。そのせいでありましょうか、ある一定の期間の活動後は卒業してしまい、ロータリーの元へ戻ってくる青少年達は決して多くはないのが現状でもあります。

ご縁のきつかけを大切にしてほしい

当地区の青少年達へ毎回お伝えしておりますのはご縁の大切さについてであります。ロータリークラブというご縁のおかげでインターアクトやロータリーアクト、国際青少年交換の方々は活動を行うことができるのです。であれば、ロータリーは誰がつくったのか？ 世界にまでなかなか目を向けるのが難しいのであればせめて、日本にロータリーを紹介してくれた人は誰なのかを知ってほしいのです。

青少年達における米山梅吉先生の認知度

日本ロータリーを創ったのは誰だか知っていますか？ この質問を何度か青少年達へ投げかけたことがあります。大変残念なことに米山先生のお名前が出てくることは今まで経験したことがありません。

ロータリークラブでは米山記念奨学委員会がありますので、米山先生の認知度はある程度は高いのですが、ロータリーファミリーであるインターアクト、ロータリーアクト、青少年交換といった青少年達における米山先生の認知度の低さはいったいどういことなのでしょう。

知られていない」とは存在しない」と同じ

「知られていないことは、存在しない」と同じである」。この言葉はアップル創業者であるステイブ・ジョブズがiPhone発表時に語った言葉であると言われています。

私は米山先生の偉業が青少年達に知られていないことを大変残念に思いますと共に、では、知ってもらうためにどうすればいいのかを考えるようになりました。

なぜマンガなのか？

米山先生関連の書籍は沢山出版されてはありますが、中学・高校生向けに作られた米山梅吉先生の伝記は無いのだろうか。そう思い、文献資料を探してみたものの中高校生向けの手軽な書籍がなかなか見つかりません。たまたま当方の職業分類が図書出版でありますことから、米山先生の事を分かりやすく子ども達へ伝えることも職業奉仕の一環なのかもしれない、そう思うようにもなりました。考えあぐねた末、子ども達に知ってもらうにはマンガを活用するのが一番ということから、マンガ「日本ロータリーの父 米山梅吉ものがたり」制作プロジェクト立ち上げに至りました。

以上、大変ざっくりとはありますがマンガ本制作の経緯についてお話しさせていただきました。あくまでも青少年達に米山先生の事を知ってもらうということを第一義としておりますので、ダイジェスト版としての分量に抑えてはおりますが、読み応えも十分あるのではないかと思っております。このマンガの発刊によって、一人でも多くの青少年達が米山先生の事、そしてロータリーの事に興味を持ってくださり、それがきっかけとなって世界に羽ばたく人財となってくれることを願ってやみません。

現代に生きる米山梅吉 — 米山記念奨学事業について —

*公益財団法人ロータリー米山記念奨学会HPより抜粋

9万人のロータリアンが支援

米山奨学事業は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。1952年に東京ロータリー・クラブで始められたこの事業は、やがて日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年、文部省（現在の文部科学省）の許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。

世界の平和を願って—なぜ留学生支援なのか—

「今後、日本の生きる道は平和しかない。それをアジアに、そして世界に理解してもらうためには、一人でも多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築くこと。それこそが、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないか」——。

事業創設の背景には、当時のロータリアンのこのような思いがありました。

それから60年余の歳月が流れましたが、民間外交として世界に平和の種子を蒔く、という米山奨学

事業の使命は一貫して変わっていません。

むしろ、今日の世界情勢と日本の置かれている状況を考えると、その使命はますます重要性を増しているのではないのでしょうか。

留学生への支援は、未来に向かって平和の懸け橋をかける尊い奉仕なのです。

財団設立50周年

ロータリー米山記念奨学会は2017年7月、財団設立50周年を迎えました。

1952年に東京ロータリークラブが始めたこの事業は、またたく間に日本全国へ広がり、1957年には財団法人設置を前提とする全国組織、「ロータリー米山奨学委員会」が結成されました。1967年には悲願の財団法人となり、以来50年、日本のロータリーや学友が思いをつないでいます。

財団法人設立当時、年間59人だった奨学生数は、今では約800人、累計では19・808人となりました。

「平和日本を世界へ」——。当初のロータリアンたちの願いは、半世紀の時を経て少しずつ花となり、実となっているのではないのでしょうか。

米山梅吉人物歴

西暦	年齢	できごと
1868年	0歳	1868年(明治元年)、江戸(東京)の和田家に生まれる。「父・和田竹造、母・和田うた」
1872年	4歳	父・竹造が逝去。母の郷里である静岡県三島に移住する。
1875年	7歳	映雪舎(小学校)入学(推定)。
1879年	11歳	米山家より養子縁組の話が出る。
1881年	13歳	旧制沼津中学に入学。静岡県駿東郡長泉村の米山家より通学。
1883年	15歳	沼津中学を退学し米山家に無断で上京。銀座江南学校に入学。
1885年	17歳	東京府吏員採用試験に合格。芝罘岩町に母と居住。
1886年	18歳	東京英和学校(青山学院の前身)に転入し、米人講師のもとで英語を学ぶ。
1887年	19歳	米山家へ正式に養子となり、渡米。8年間の在米中、オハイオ州・ウェスレヤン大学やニューヨーク州・シラキユース大学などで法学を学ぶ。
1895年	27歳	8年の修学を終えて、日本に帰国。
1896年	28歳	勝海舟に師事し、東京博文館より「提督彼理(ヘルリ)」を出版する。静岡県駿東郡長泉村において米山はると結婚。日本鉄道会社(上野・青森間の鉄道)入社。静岡県駿東郡長泉村にお
1897年	29歳	長女愛子が誕生。合名会社三井銀行に入社。月俸40円。
1898年	30歳	三井銀行神戸支店次席。銀行業務取調のため欧米出張を命ぜらる。次女澄子誕生。
1899年	31歳	アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、オランダ、ベルギーを視察後、帰国。
1900年	32歳	三井銀行本店営業部勤務、三井銀行大阪支店長代理。
1901年	33歳	長男東一郎誕生。 三井銀行の要職を歴任す

1946年	78歳	4月28日、静岡県駿東郡長泉村大字下土狩別邸で逝去。享年78。
1945年	77歳	終戦後の国会に登院。東京大学附属病院に入院。
1943年	75歳	前立腺肥大を発病。聖路加病院入院。以降、闘病生活が続く。
1942年	74歳	勲四等に叙せられ瑞宝章受章。
1940年	72歳	戦争の影響でロータリークラブ解散。(翌年、太平洋戦争勃発)
1938年	70歳	貴族院議員に勅選。
1937年	69歳	財団法人緑岡小学校(現、青山学院初等部)創立。校長に就任。緑岡幼稚園創立。夫人が園長として就任。
1928年	60歳	紺綬褒章受章。『ロータリーの創設者、ポール・ハリス』翻訳書出版。正六位に叙せられる。
1926年	58歳	次男駿二逝去。(享年21)〔昭和元年〕
1924年	56歳	三井信託株式会社を創立し取締役社長に就任。兄の栄次郎が逝去(享年69)。
1922年	54歳	養父・米山藤三郎逝去。(享年75) 大阪に日本第2番目のロータリークラブを結成。
1921年	53歳	長男東一郎逝去。(享年20)
		く以降、全国にロータリークラブが続々と誕生していく
1920年	52歳	日本初のロータリークラブである「東京ロータリークラブ」を設立し、初代会長に就任。
1918年	50歳	アメリカ視察中に、ダラスロータリークラブの会員である福島喜三次と会う。
1914年	46歳	「新隠居論」を発表。報恩の趣旨を明らかにする。
1908年	40歳	実母和田うた逝去。(享年81)
1906年	38歳	三男桂三誕生。
1905年	37歳	ポール・ハリスが、シカゴに「ロータリークラブ」を創設。次男駿二誕生。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会沿革

西暦	できごと
1952年11月	日本で最初のロータリークラブを創立した米山梅吉氏の功績を記念して、東京ロータリークラブが米山奨学制度を設立
1953年4月	米山基金として募金を開始
1954年9月	奨学生第1号のソムチャード(タイ)君来日
1956年10月	第60区および第62区の年次大会に際して、米山基金を地区内クラブの合同事業とすべく決議された
1957年9月	国内全クラブの合同事業として「ロータリー米山奨学委員会」が結成され、全国組織となる。 「月に煙草一箱を節約して」の合言葉によって、会員1名あたり月額50円の寄付金を募る運動がスタート
1958年4月	「ロータリー米山奨学委員会」として全国の大学から8名の奨学生を採用
1959年4月	世話クラブ制度を設置
1960年1月	「ロータリー米山記念奨学会」と名称変更
1967年7月	文部省(現・文部科学省)からの許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立される 年間の奨学生数…6ヶ国 59名
1971年4月	カウンセラー制度を設置
1972年12月	米山功労者制度の制定
1978年10月	特別寄付金の免税措置が認可される
1983年1月	台湾に元米山奨学生が組織する「米山学友会」が正式発足
1985年11月	国内初の米山学友会(関東)が誕生

1989年6月	韓国米山学友会が正式発足
1998年6月	米山奨学生の出身地をロータリークラブ所在国にかかわらず、すべての国・地域に拡大。 1999年4月採用から、ロータリークラブの所在の有無による国籍別の資格制限がなくなる
2001年11月	留学生受け入れ制度100年の記念にあたり、日本政府から留学生交流功労団体として表彰を受ける
2002年4月	指定校・大学推薦制度での奨学生募集を開始
2003年10月	各地の米山学友会が連携し、第1回米山奨学会学友セミナーを開催
2004年5月	国際ロータリー2004年国際大会(関西)に初出席
2006年4月	制度改編・新制度発足「現地採用奨学金」「地区奨励奨学金」
2007年11月	日本全地区によるロータリーの多地区合同奉仕活動としての手続きが完了
2009年3月	中国米山学友会が設立
2012年1月	公益法人制度改革に伴い「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」へ移行
2012年3月	タイ米山学友会が設立
2013年10月	ネパール米山学友会が設立
2014年3月	モンゴル米山学友会が設立
2016年6月	スリランカ米山学友会が設立
2016年9月	マレーシア米山学友会が設立
2017年2月	ミャンマー米山学友会が設立
2017年7月	財団設立50周年 2017学年度 奨学生793名 累計奨学生125の国と地域、19808名

“米山梅吉翁の遺徳を永久に偲ぶことのできる無形の金字塔に”

戦後、平和を求めるロータリアンの熱い思いで始まった



ロータリー米山記念奨学事業

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリーが運営する奨学財団で日本で学ぶ外国人留学生を支援しています。

民間最大の国際奨学事業です

年間の奨学生採用数は、約 800 人。

毎年の奨学金事業費は、12 億 5 千万円超。

民間の国際奨学事業としては、日本最大規模です。

財源のほとんどは、日本全国のロータリアン（ロータリークラブ会員）からの寄付金によって賄われています。

ロータリー米山記念奨学事業は、日本の全ロータリー地区による「多地区合同活動」として、国際ロータリーからも称賛されています。

「世話クラブ・カウンセラー制度」を通じた心の交流があります

米山奨学生一人ひとりに地域のロータリークラブが「世話クラブ」となり、世話クラブの会員が「カウンセラー」となって、日常の相談役を務めます。奨学生は、ただ奨学金を受け取るだけでなく、世話クラブの例会や奉仕活動に参加し、実業人・専門職業人であるロータリアンとの交流を通じて、ロータリーが求める平和の心、奉仕の心を学びます。

世界の平和を願って始まった奨学事業

ロータリー米山記念奨学事業の歴史は、60 年以上前にさかのぼります。

敗戦後の復興が続く 1952 年、日本のロータリーの礎を築いた米山梅吉翁の遺徳を記念して、

日本で最初に設立されたロータリークラブ、東京ロータリークラブが「米山基金」を設立

しました。米山梅吉翁が生前、日本国内やアジアからの留学生に陰ながら支援

の手を差し伸べていたことから、ロータリー財団の国際奨学制度に模して、

アジア諸国から留学生を招致し、日本での研究を支援するのが

基金の目的でした。そして、2 年にわたる募金活動の後、

1954 年にタイから第 1 号奨学生となるソムチャード氏

を招へい。その後は、すでに在日している留学生の

支援に切り換えながら、合計 3 人を支援しました。

その間、この事業に対する共感と理解は全国に

広がり、事業創設から 5 年を待たずに、米山

記念奨学事業は、日本の全ロータリークラブに

よる合同事業に発展しました。

米山記念奨学金の目的は、日本が再び戦争の

過ちを繰り返さない誓いと、世界に“平和日本”の

理解を促すことにありました。留学生が平和を求める

日本人と出会い、互いに信頼し合う関係を築き、「日本

と世界を結ぶ懸け橋」となることを願ってつくられたのです。



The countries and regions where Yoneyama scholars come from

2017 学年度までの累計奨学生数は 19,808 人、その出身国は 125 の国と地域におよびます

*奨学生・学友累計数が20人以上の国と地域を記載



～ ご支援をお願いします ～

ロータリー米山記念奨学事業は、皆様の尊い寄付金によって支えられています。ぜひご支援をお願いいたします。ご寄付は、おいくらからでも、どなたからでもお受けします。

▶なお、当会にご寄付いただく、寄付金控除を受けることができ、個人の所得税や住民税(一部)、法人寄付の場合は法人税が軽減されます。当会は寄付金の「税額控除」適用法人ですので、「所得控除」と「税額控除」のどちらが有利な方を選択していただくことができます。

— 寄付をするには —

ロータリークラブ会員 ▶ 所属クラブを通じてご送金ください
会員以外の方 ▶ ご連絡の上、下記口座へお振込みください

三井住友銀行 京橋支店 普通預金 0920373
口座名義：公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

Rotary 

公益財団法人
ロータリー米山記念奨学会
ロータリー日本国内全地区合同プロジェクト

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階 TEL 03-3434-8681 FAX 03-3578-8281

ホームページ <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

Facebookもチェック 

Special Thanks (敬称略)

シナリオ制作

浮辺 剛志

カバーデザイン

木村 由巳夫 (デザインケイアイ)

公益財団法人 米山梅吉記念館

市川 真理

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会

武本 泰子

国際ロータリー第 2700 地区 2017-18 年度ガバナー

安増 惇夫

国際ロータリー第 2700 地区

青少年奉仕委員の皆様

本書は青少年奉仕活動でご使用される限りにおいて、自由に転載・複写・配布
いただけます。ご使用の際は申請不要ですが、ご一報いただけますと励みになります。

マンガ 日本ロータリークラブの父 よねやまうめきち 米山梅吉ものがたり

平成 30 年 3 月 31 日発行

企 画 国際ロータリー第 2700 地区青少年奉仕委員会

マ ン ガ 宮下二三

発 行 者 田村志朗

発 行 所 (株) 梓書院

〒 812-0044 福岡市博多区千代 3 丁目 2-1

tel 092-643-7075 fax 092-643-7095

ISBN978-4-87035-625-2 ©2018 Azusashoin, Printed in Japan

乱丁本・落丁本はお取替えいたします。